

## 地域医療再生基金事業の執行状況について

区分	H29年度 主要事業	H29年度 事業実績	H30年度 主要計画	備考
浜通り地方 医療復興計画 (第1次) 【計画期間】 H23～ 【計画額】 150.2億円	①双葉地域の二次救急医療提供体制の整備  ・ふたば医療センター（仮称）整備支援事業	○「福島県ふたば医療センター附属病院」の施設整備（H30.4開所）	①双葉地域の二次救急医療提供体制の整備  ・多目的ヘリ格納庫、ヘリポート整備	○執行状況 ・計画額 150.2億円 ・H28累計執行額 124.2億円 ・H29執行額 17.5億円 ・H30執行予定 2.5億円  ※「避難地域等医療復興計画」の一部事業に充当
浜通り地方 医療復興計画 (第2次)  【計画期間】 H24～ 【計画額】 160.2億円	①三次救急医療を含む医療体制全般の機能強化  ・新病院整備事業	○「いわき市医療センター」の施設整備等を支援（H30.12開院予定）	①三次救急医療を含む医療体制全般の機能強化  ・「いわき市医療センター」の施設整備等を支援（H30.12開院予定）	○執行状況 ・計画額 160.2億円 ・H28累計執行額 95.2億円 ・H29執行額 13.3億円 ・H30執行予定額 48.4億円  ※「避難地域等医療復興計画」の一部事業に充当
②双葉地域の二次救急医療提供体制の整備  ・ふたば医療センター（仮称）整備支援事業	○「福島県ふたば医療センター附属病院」の設備整備（H30.4開所）	②双葉地域の二次救急医療提供体制の整備  ・多目的ヘリ運航事業		
浜通り地方 医療復興計画 (コスト高騰分)  【計画期間】 H27～ 【計画額】 49.5億円	①三次救急医療を含む医療体制全般の機能強化（コスト高騰分を支援）  ・新病院整備事業	○「いわき市医療センター」の施設整備等に係る費用のうち、建築コスト高騰分を支援	①三次救急医療を含む医療体制全般の機能強化（コスト高騰分を支援）  ・「いわき市医療センター」の施設整備等に係る費用のうち、建築コスト高騰分を支援	○執行状況 ・計画額 49.5億円 ・H28累計執行額 21.3億円 ・H29執行額 11.6億円 ・H30執行予定額 12.8億円
地域医療 再生計画 (相双医療圏)  【計画期間】 H21～ 【計画額】 25.1億円	①双葉地域の住民に対する医療提供体制の確保  ・双葉地域公設医療機等関整備支援事業	○双葉郡立診療所（北好間、勿来酒井）の施設整備、運営費を支援 ・双葉郡立好間診療所（H29.12開所） ・双葉郡立勿来診療所（H30.4開所）	①双葉地域の住民に対する医療提供体制の確保  ・双葉郡立診療所（北好間、勿来酒井）の運営費を支援	○執行状況 ・計画額 25.1億円 ・H28累計執行 18.0億円 ・H29執行額 5.8億円

区分	H29年度 主要事業	H29年度 事業実績	H30年度 主要計画	備考	
<b>避難地域等 医療復興計画</b>  <b>【計画期間】 H29～32 【計画額】 236.3億円</b>	<b>避難地域の医療提供体制の再構築</b>  <b>①双葉地域の住民に対する医療提供体制の確保</b> ・警戒区域等医療施設再開支援事業 ・双葉公設医療機関等整備支援事業	○再開する医療機関等の施設整備費等支援【実績】 ・診療所：3施設 ・薬局：1施設 ・訪問看護ステーション：1施設 ○ふたば復興診療所の運営費支援	<b>①双葉地域の住民に対する医療提供体制の確保</b> ・警戒区域等医療施設再開支援事業 ・双葉公設医療機関等整備支援事業 ・避難地域薬局開設支援事業	○執行状況 ・計画額 236.3億円 ・H29執行額 32.5億円 (※うち5.0億円) ・H30執行予定額 55.8億円  ※一部事業に「浜通り地方医療復興計画(第1、2次)」の財源を充当。	
	<b>②双葉地域の二次救急医療提供体制の整備</b> ・双葉地域二次救急医療提供体制確保事業	○「ふたば救急総合医療センター」による救急医療支援等。	<b>②双葉地域の二次救急医療提供体制の整備</b> ・双葉地域二次救急医療提供体制確保事業		
	<b>近隣地域の医療提供体制の充実</b>  <b>①避難地域で提供体制の構築が必要とされる医療の確保</b> ・近隣地域医療提供体制整備事業	○避難地域の住民を含む新規透析患者の受入枠の拡大【実績】 ・相馬中央病院(相馬市) ・小野田病院(南相馬市) ・南相馬市立総合病院 ※新規	<b>①避難地域で提供体制の構築が必要とされる医療の確保</b> ・近隣地域医療提供体制整備事業		
	<b>②短・中期的な医療従事者の確保</b> ・浜通り地方医療提供体制強化事業	○県外医療支援等に要する経費を支援。【実績】 ・県外医療支援：360名(21施設) 医師350名、看護師8名、他2名	<b>①短・中期的な医療従事者の確保</b> ・浜通り地方医療提供体制強化事業		
	<b>原子力災害により不足した医療人材の確保</b>  <b>①短・中期的な医療従事者の確保</b> ・地域医療等支援教員増員事業 ・浜通り看護職員確保支援事業	○相双医療圏の中核病院に対し、福島県立医科大学から17名の非常勤医師を派遣。 ○医療機関が看護職員の定着を図る取組に対し支援(33施設)。	<b>①短・中期的な医療従事者の確保</b> ・地域医療等支援教員増員事業 ・浜通り看護職員確保支援事業		
	<b>②長期的な医療従事者の確保</b> ・緊急医師確保修学資金貸与事業 ・保健師等修学資金貸与事業 ・理学療法士等修学資金貸与事業	○将来、県内の公的医療機関等に勤務しようとする者に対して、修学資金を貸与。【実績】 ・医師79名、保健師等189名、理学療法士等330名	<b>②長期的な医療従事者の確保</b> ・緊急医師確保修学資金貸与事業 ・保健師等修学資金貸与事業 ・理学療法士等修学資金貸与事業		
					<b>H29執行額計</b>  <b>80.7億円</b>
					<b>H30執行予定額計</b>  <b>119.5億円</b>